

十二月 学校だより

平成二十五年十一月二十九日

保護者力、地域力に支えられた上福島小学校

上福島小学校は、とてもよい学校です。よい学校と言いつてもいろいろな意味があります。いくつか思いつくままに挙げてみます。

- ・何より、子どもが素直です。
- ・学習する姿勢が身についています。
- ・給食を残さずに食べてくれます。
- ・上の子が、下の子のお世話をよくします。
- ・チャイムとともに行動できます。
- ・先生に対して、きちんとした言葉づかいで話すことができます。
- ・休み時間、運動場に出てよく遊んでいます。
- ・動植物を大切にします。 など

では、このような子どもの姿が見られるのは、当たり前なのでしょうか。それは、違います。テレビや新聞などの報道で、授業中の立ち歩き、先生への暴言、施設の破壊、など学校の荒れを目にすることがあります。このような問題をかかえる学校が少なからずあるのが現状です。

さて、この違いは、どのようなところにあるでしょう。

要因の一つとして言えることが、保護者力、地域力です。上福島小学校は、その保護者力、地域力に支えられていることが本当に大きいです。

保護者力とは、親として子どもにかかわり、子どもを大切に思い、子どもに愛情をたっぷりそそぐことができる力ではないかと思っています。

また、地域力とは、「地域の子どもは、将来地域を支えてくれる未来の力なので地域の宝物。大切に育てていこう。その子どもたちのために、学校がよりよくなるよう支えていこう。」という力であると思います。

このような、保護者力、地域力を身近に感じることができる瞬間があります。例えば、私たち教職員が、保護者の方と接するとき、多くの保護者の方はあいさつの中に、「いつもお世話になってます。ありがとうございます。」という一言をおっしゃってくださいます。この一言が自然に出ることこそが、学校と家庭が両輪となり同じ視線で子どもを育てることができる原点であると思います。保護者力は、先ほどの子どもの姿に現れてきていますが、このような何気ない姿勢にも現れているのです。また、今年、大きな地域力を感じたのが、防災訓練（土曜授業）です。子どもたちのために、町会、区役所、消防署一丸となつて企画、実施してくださいました。本当に感謝いたします。

ぜひ、これからも、学校、保護者、地域が同じ視点で温かく子どもたちを育てていけるようご協力お願いいたします。

（教頭 當麻 俊和）

学習予定

二日(月)	歯と口の健康強調週間開始 歯みがき指導 暖房開始 C・NETによる外国語活動
三日(火)	美術館鑑賞六年 委員会活動
四日(水)	美術館鑑賞六年事前準備一限
五日(木)	四年ティールボール教室 三限
六日(金)	なかよし班活動 三限 長楽苑見学・交流五年 午後
七日(土)	P・T・A実行委員会
八日(日)	P・T・Aもちつき大会
九日(月)	生活指導強調週間開始 美術館鑑賞事前学習一～五年 ふれあいコンサート 代表委員会
十日(火)	
十一日(水)	地区集会 五限後半
十二日(木)	NHK見学五年
十三日(金)	全校児童対話型美術館鑑賞 生活振り返り週間開始 C・NETによる外国語活動
十六日(月)	
十八日(水)	個人懇談会・健康相談
十九日(木)	個人懇談会・健康相談 食育の日
二十日(金)	個人懇談会・健康相談
二十三日(月)	天皇誕生日
二十四日(火)	給食終了
二十五日(水)	第二学期終業式
二十六日(木)	冬季休業開始（～一月六日）